

『いま、パッシブデザインに集まろう。』

この言葉をスローガンに掲げて設立されたパッシブデザイン協議会の活動は5年目を迎えました。

その年の情勢からパッシブデザインの位置づけを深く考える「未来会議」を、今年も開催いたします。

昨年は省エネルギー基準が完全施行され、今年4月にはZEHビルダー登録開始、BELSのスタートと、住宅の省エネルギー化に向けた取り組みがよりいっそう本格化しています。その中で、自然エネルギーと的確に応答でき、快適・健康と省エネルギーの両立が実現できるパッシブデザインを建物に組み込むことは、地域に根ざした住宅をつくる建築事業者において大きなアドバンテージとなることは間違いありません。2020年には住宅におけるZEHを標準化するという流れに、パッシブデザインでいかに他社と差別化し、勝ち抜いていくか。

今回の未来会議では、ZEH時代におけるパッシブデザインの可能性と、昨年からはスタートしたパッシブデザイン認証制度「PassDeC」に取り組む意義と価値、その事例をご紹介します。パッシブデザインに真摯に取り組む方、また取り組みたいとお考えの方はぜひご参加いただき、今年すべきことを見出し、勝ち残る手法を掴みとっていただければと思います。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

「これからの時代を勝ち抜くパッシブデザイン」を探る240分！

## パッシブデザイン未来会議 2016

6月14日[火] 13:30～17:30

会場：剛堂会館ビル1F 第2会議室  
(東京都千代田区紀尾井町3-27)

参加費：会員A・協賛企業 無料 非会員・会員B 5,000円/名

会員Aには、Forward to 1985 energy lifeの正会員で、パッシブデザイン協議会への登録手続きがお済みの方を含みます。

定員：80名

### プログラム

#### 講演1 ZEH時代における パッシブデザインの意義 (仮題)



前 真之 氏

東京大学工学部建築学科准教授

1975年 広島県出身。東京大学大学院工学部建築学専攻 博士課程修了。博士(工学)。2003年 建築研究所研究員、2004年 東京大学寄付講座客員助教授を経て現職。暖房や給湯にエネルギーを使わない無暖房・無給湯住宅の開発を中心とし、建築の環境に関わることを全般を扱う。主な著書に「エコハウスのウソ」(日系BP)。

#### 講演2 成功するパッシブデザインに必要なこと ～設計力と営業力を共に高める PassDeC～



野池 政宏 氏

(一社)パッシブデザイン協議会 代表理事

1960年生まれ 岡山大学理学部物理学科卒。パッシブデザイン協議会のほかにも、Forward to 1985 energy life 代表理事、自立循環型住宅研究会主宰、NPO法人WOOD AC 理事。全国のベンチマーク工務店や企業のコンサルタント、販促ツールのプロモーション、数々の講演に携わるなど、現在最も売れっ子の住宅アナリスト。

#### 事例発表 PassDeC 事業者認証社による事例解説 株式会社参創ハウテック 様



PassDeC 事業者認証を取得された「参創ハウテック」様にご登壇いただき、定量評価認証物件の解説に加え、パッシブデザインの自社スキームへの組み込み方や事業戦略についてお話いただく予定です。

パッシブデザインシミュレーションソフト

passive-design  
EVALuator

6/14(火) 使い勝手よくバージョンアップ!

未来会議では  
バージョンアップ内容のご紹介と、  
ソフトを既にお持ちの方に、  
即時無料交換※を実施いたします。

※1 既にご購入済みの方が対象となります。  
現物を必ず会場にお持ちください。

当日は  
新EVALuator  
を使った解説も!



お申し込みは、パッシブデザイン協議会ホームページのイベント情報よりお願いします。

<http://www.passive-design.jp/>  にて検索!

[主催・お問い合わせ先]

一般社団法人 パッシブデザイン協議会 TEL 03-5408-6033 Mail info@passive-design.jp (担当: 松尾)